



アフガニスタン：ようやく決定した新大統領

アフガニスタンの次期大統領にガーニー元財務相が就任することがようやく確定した。9月21日、次期大統領候補として決選投票に残ったアシュラフ・ガーニー元財務相とアブドラー・アブドラー元外相は、挙国一致政権の枠組みについて合意し、署名を行った。署名式には、カルザイ大統領が立会い、テレビで生中継された。同合意署名後、大統領選挙管理委員会は、大統領選挙決選投票でガーニー候補が勝利したと発表したが、アブドラー元外相の要請を受けて得票数は明らかにしなかった。米国のオバマ大統領は、両者と電話会談を行い、政治的合意の成立を祝福するとともにアフガニスタン支援継続を伝えた。両者の合意では、ガーニー元財務相が大統領に就任し、アブドラー元外相は、「行政長官」に就任する。「行政長官」ポストについては、2年以内に憲法改正を行い「首相」ポストに変更される予定である。ガーニー氏は9月末に大統領に就任する。23日、ターリバーンは、新政権を認めないと声明した。

アフガニスタンの大統領選挙は、2014年4月5日に最初の投票が行われた。アブドラー元外相が得票数で第一位となったが、過半数の票を獲得できず、第二位のガーニー元財政相との決選投票となった。大統領選挙決戦投票は6月14日に実施されたが、アブドラー候補側が投票で不正があったとして開票作業の中止などを要求し、開票プロセスが渋った。7月中旬、米国のケリー国務長官がアフガニスタンを訪問、両者間の仲介を行った結果、7月12日、両者は国際社会の監視の下で、票の調査を行うことで合意した。しかし、その後もアブドラー候補側は、再集計作業を信用しなかった。ケリー国務長官は、8月はじめに再びアフガニスタンを訪問、両候補と会談を行い、8月8日、両者は挙国一致政権を作ることで合意した。同合意後、票の再調査と両者間の政治協議が平行して行われていた。票の再集計は9月はじめに終了していた。9月前半、ガーニー、アブドラー両者が2回直接協議を行ったほか、両陣営の関係者が新政権の構成について協議を行っていた。

評価

アフガニスタンでは、挙国一致内閣が成立しない場合、内戦が発生するかもしれないと懸念されていた。その懸念は、一時的であれ解消した。また対外的には、米国との安全保障協定調印が緊急の課題になっていた。カルザイ大統領は同協定への署名を拒否し、署名を次期大統領に先送りした。そのためアフガニスタンと米国の関係が悪化した上に、次期大統領が決まらなると、2015年以降の米軍及びNATO諸国軍部隊のアフガニスタン駐留も危うくなる情勢だった。ガーニー次期大統領は、米国との安全保障協定を支持しており、米国は就任後の早い時期に安全保障協定署名が行われることを期待している。新大統領の就任決定により、2015年以降の米軍及びNATO諸国軍のアフガニスタン駐留継続はより確かなものになっ

たが、米軍、NATO 諸国軍の駐留がアフガニスタンに安定をもたらすかは不明である。また拳
国一致政権が順調に機能するかは、さらに不透明である。国内の多数派であるパシュトゥー
ン人の支持を受けたガーニー新大統領と、国内の少数派で構成された北部同盟の幹部アブド
ラー「行政長官」の権力分配が順調に機能しない場合、内政の不安定化は避けられない。他
方、今回の大統領選挙はスムーズに推移したとは言えないが、第一回の選挙については予想
以上の有権者が投票に参加し、かつ選挙は公正に行なわれたと評価されたこと、また紆余曲
折はあったが政権の移行が平和裏に行われる情勢になったことは評価できるだろう。

(中島主席研究員)

◎本「かわら版」の許可なき複製、転送、引用はご遠慮ください。

ご質問・お問合せ先 公益財団法人中東調査会 TEL:03-3371-5798、FAX:03-3371-5799